

ひとりひとりの市民の英知で
直接参加民主主義を広げよう。

緑と市民自治



発行人
福島浩彦+市民グループ 我孫子市湖北台4-10-6 ☎(88)8882



古利根が埋められる

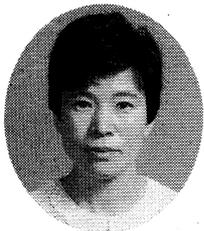
1988.9.26

これ以上壊さないで、我孫子の自然

自然の宝庫「守る会」も発足

我孫子市が自然公園として保存する予定の古利根沼(広さ約2000坪、中峠地先)が、東京の開発業者に買収され、埋め立てで約400戸の住宅による「ニュータウン」にする計画が進んでいます。

古利根沼は、利根川本流のわん曲部が流れを寸断され、三日月形の沼と残ったもの。カシやコナラなどの原生林に囲まれ、利根川の昔の姿をとどめています。水と緑の調和がすばらしく、動植物も豊富で、我孫子では一番自然が豊かな場所です。また関東の釣りの名所として知られ、毎年ヘラブナの放流も行われています。古利根沼は、遊水池やかんがい用水としての役割も大きく、埋め立てれば、周辺への都市型水害の発生もたいへん心配です。9月23日には、各層170人以上の市民の呼びかけで、「古利根の自然を守る会」(代表・鈴木庄松さん他三人)が発足しました。



自然は作れない

小川美枝子さん

(中峠在住)

人間は家は作れても、自然を作ることはできません。自然をなくすことに反対です。古利根から歩いて5分は、周辺の自然と環境を考慮するのと同じように住んでいます。美しい自然を、次の世代に見え、仕事で疲れていても、心やすらぎを与えてくれるのですから。

人間は家は作れても、自然を作ることはできません。自然をなくすことに反対です。古利根から歩いて5分は、周辺の自然と環境を考慮するのと同じように住んでいます。美しい自然を、次の世代に見え、仕事で疲れていても、心やすらぎを与えてくれるのですから。



人間として

千葉武敏さん

(学生・国際学科)

三年ほど前、ニュージーランドのクライストチャーチという町に留学しました。日本に比べ人口密度も低く、利根は、今でも水と緑が自然に伝えているのです。

水道料金23・6%引下げへ



料金を引下げる予定です。しかし市議会決議では、財源が約4億に限定されているため、料金を引下げることは、単に数字上だけで、90年度から現行料金よりも低くなります。

86年の料金値上げ後、料金は3年間で12億円を越え、予定の4倍にもなります。市民団体と社会党は、このうち少なくとも6億7千万円を値下げの財源にするよう、要求してきました。(表参照)

共産党は「『おひこ民報』」これは6月市議会で、水道会計の赤字還元を求める決議の内容は全面的に共産党の主張(表参照)が入り込まれた。市民の運動の大きな成果と言えます。審議会審議が完了後、条例改正が行われ、来年4月から

表 水道料金の値下げ要求の内容

値下げの総額	財源の基本的考え方
市民団体と社会党の値下げ要求 約6億7千万円	水道財政の大幅に伸びた黒字と当初計画で予定していた黒字の差額分。(受水費と動力費の減額分を含む)
共産党の値下げ要求 約3億4千万円	水の原価を単純に直接下げることによる受水費の減額分
全会派一致の議決案 約4億円	水道財政の大幅な黒字のうち、「外部要因」から生じた費用減額分。(受水費と動力費の減額分)

受水費とは、北千葉水道企業団から市水道局が買う水の費用。価格と責任水量が下がったため86年から減額になった。86年の水道料金値上げに反対する最大の理由の一つだった。

9月市議会の質問から



福島浩彦 (市議会議員)

質問(福島) 市は今でも、水面15・8秒全部について67分の2の権利を持っている。自然公園化の実現に全力をあげていきたい。答弁(市長) 市の態度は、答弁 単純計算すれば御指摘のとおり。今後協議する。

のままに残されている、数少ない場所です。それを埋め立てるのは暴挙としか言いようがありません。質問 法的には古利根沼は市街化調整区域で、開発にはきびしい制限がある。許可基準を示した真の要綱では、開発は市の計画に基づくことが条件になっている。市は開発が、市の総合公園計画に反していることを真に伝えるか。答弁 市の意見として真に提出したい。

紙面開放 フリースペース

地球を汚し続ける 原子力発電

反原発運動に多少なりとも関わっている者として、原発に関心をよせる者の割合があまりにも少ないことに疑問を感じて一言発言したいとおもいます。

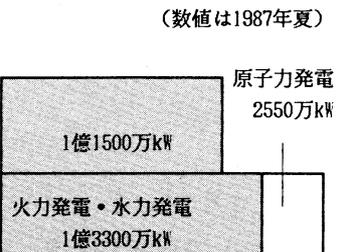


とめよう原発

一昨年ソ連のチェルノブイリで起こった原発事故を契機に、世界では原発見直しの気運が高まっているのに、我が国では地域住民の強い反対を押しきって、原発・再処理工場・高レベル放射線廃棄物貯蔵施設の建設を強行しています。

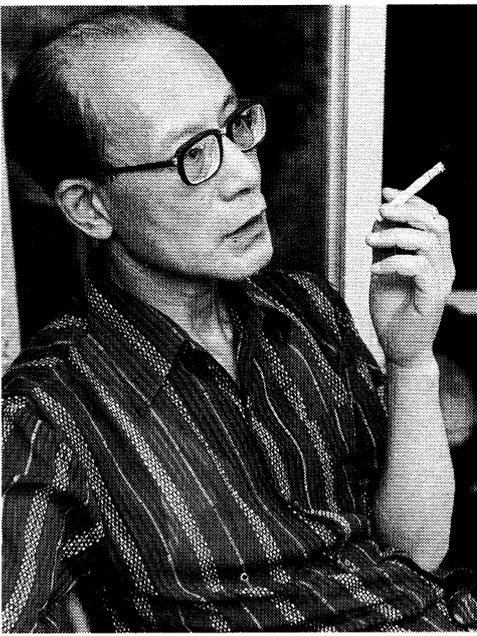
推進の理由として、当初の石油の代替で安価なエネルギーという幻想が崩れると、「火力発電は二酸化炭素増加による地球温暖化をまねく。水力発電はダム建設で自然を破壊する。」などの理由をつけて、原発はクリーンエネルギーであると喧伝されています。

電気は余っている



ゴミとエネルギーを考える住民の会
川俣忠紀

8415711



思想界の別格的な存在
1924年岐阜に生まれる。43年東大に入学。法学部に在籍していたが故の特権を一切放棄し、最下等の一兵卒として死を覚悟で出征。52年文学部を卒業。
現実に関与せずアカデミズム内に自閉する哲学を根底から否定。
現在、早稲田大学法学部で「社会思想史」を、国学院大学文学部で「言語論」「文学概論」「フランス語」を独自の参加方式で教えている。
この一人頭抜けた明晰な哲人は、自然を愛し土に親しむ心優しき「愛妻家」でもある。

盗まれた自由
人間ロボット化の管理社会を問う

現代の管理社会は、各人が主体性を放棄して手に入れた物質的豊かさの中で、次第に個人のエネルギーを喪失し、緩慢な死へと向かっているかのようです。
「多教派に同調をうながし全体を金縛りにする」という新たな支配のメカニズムは、個人から自由を奪い去ることで社会を退廃へと導きます。
いつの時代でも、人間の生に活気を与え、危機を打開し、新たな目標を提示し得た

竹内芳郎 (哲学者) 講演対話の会

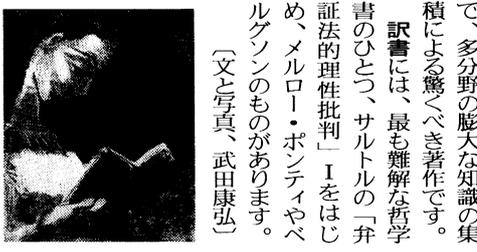
10月9日(日) PM1:30~5:00
市民会館第2・3会議室
主催・我孫子哲学研究会
TEL 82-7853

竹内芳郎著 具体的経験の哲学
現代哲学思潮批判 岩波書店

竹内哲学に触れた時、ひとりの威力と重要性を学ぶことは誰でも、自分の寄りかかって、精神の能動性を作り出している常識の矮小さを感じないでいられないでしょう。
この透徹した明晰さと深い全体性の精神は、一人ひとりの生を疎外する社会構造を、その最深の基盤から批判し、誰かが「なる程、本当の学性の回復です。」

等身大の思想を

問とは、この世のものだったのか、と戦慄とともに覚醒することでしょう。
私達現代人は、大量の情報に採られる情性化された存在に墮落しています。
本道に自分の頭で考えることを放棄するのではなく、各々の具体的な経験から出発して、その最深の基盤から批判し、誰かが「なる程、本当の学性の回復です。」



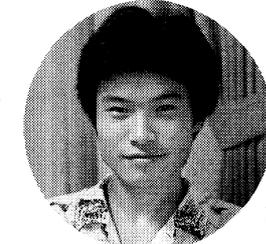
読者の書
「国家と文明」と導きます。「国家と文明」75年岩波は、新たな市民的共同体を構築するための感動的な歴史と社会理論です。85年に増補版となった「言語その解と創造」筑摩は、科学的合理的主義を超えた新たな意味から、言語論の階層化と流動化を表現、言語論の金字塔と評されます。「文化の理論」と評されます。「文化の理論」は、現代の人類が逢着している「文明の危機」の課題に、しっかりと裸々に露呈させることに成功した理論的基盤を与えるもので、多分野の膨大な知識の集積による驚くべき著作です。
『文と写真、武田康弘』

「水館」の工事予算を具から取ってきたのは誰であるか、誰のおかげで新聞が、誰のおかげで建つことになり返しています。
あなたも市の広報紙のようなになったのかと、さかんに宣

「さきがけ」新聞の危険性NO.2
先に、「さきがけ」新聞が、誰のおかげで建つことになり返しています。あなたも市の広報紙のようなになったのかと、さかんに宣

私たちの視点
「さきがけ新聞」は、「井出口県議の宣言紙」という本質をつかれたことがよほど気に入らないと見え、同紙53号で相変わらず、福島市議に対して発言していきたいと思

法律相談
毎月第3土曜日、午後1時から4時まで。
千葉県革新弁護団の弁護士が、無料で相談に応じます。
申し込みは、☎88-8882 福島浩彦まで。
おねがい
「緑と市民自治」は市民の皆様に関わられた新聞です。編集や討論に参加していただける方はご連絡を。また発行はすべて個人の資金です。心ある方のカンパを頂ければ幸いです。
福島浩彦さんを応援する市民一同
連絡先☎84-0078生活センター内 早川靖子まで。



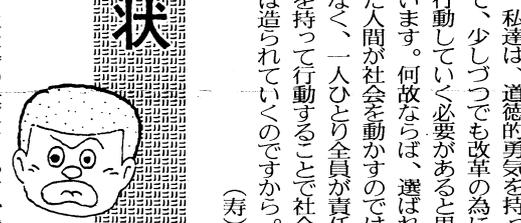
「教育」と「管理」は相反するもの
綿貫信一さん (学生・哲学科)

管理教育は、教育という生徒に学ばせないという点に葉を含みながら、生徒が自らなってしまう。
従って、教育と管理は相反する性質のものであり、現在の学校生活の中で、いろいろ問題に直面し、関わりながら、自分たちの手で解決していくという体験を通じて、間接体験では得られない「何か」を学ぶということではないでしょうか。勉強にしても同様です。日常の様々な体験があつてこそ、学習したものが知識として吸収できるのであつて、深い個人的体験がなければ、知識として根を張りません。ところが、学校管理は生徒に問題を起させないようにと、何から何までがんじがらめに管理してしまうのです。問題を起させないから丸刈り強制がなくなり、生

市内中学校校則見直しの現状
教育委員会資料より
男子中学生への丸刈り強制は、自分の頭で考える力を育てるのに、規則に従順に従うていけるのでしよう。「丸刈り強制に反対する会」を中心に市民の運動も広がっています。また、6月に市議会に提出した生徒会の下に審議会を設け、許可制で長髪。さらに、アンケート調査を実施し、今検討中で、許可制を強制制にする方向。

著書・訳書の紹介
氏の著作は、すでに多くの現代の古典となつています。背骨のないファッション思想や浅薄な科学主義の風潮が蔓延する日本思想界の中で、氏はほとんど例外的に、強靱で凝縮した文章・思想を示し続けてきました。
今年六月新刊の宗教論「意」と評されます。「文化の理論」と評されます。「文化の理論」は、現代の人類が逢着している「文明の危機」の課題に、しっかりと裸々に露呈させることに成功した理論的基盤を与えるもので、多分野の膨大な知識の集積による驚くべき著作です。
『文と写真、武田康弘』

我孫子中学校
77年度末に改正・整理。男子頭髪は「原則として丸刈り」。PTA了解済み(4月15日)。PTAの意見として「継続課題として残す」。早急に改正の必要認めず。
湖北台中学校
頭髪を含め、校則全体の見直し中。7月・生徒の希望調査。9月・生徒会検討。10月・職員検討。11月・PTA・生徒、職員三者で検討。
湖北中学校
88年4月に一部改正。男子頭髪は現在「短髪」。さらに、父母・地域・生徒の意見を聞いて、今年度末に結論を出す。



「さきがけ」新聞の危険性NO.2
先に、「さきがけ」新聞が、誰のおかげで建つことになり返しています。あなたも市の広報紙のようなになったのかと、さかんに宣

「さきがけ」新聞の危険性NO.2
先に、「さきがけ」新聞が、誰のおかげで建つことになり返しています。あなたも市の広報紙のようなになったのかと、さかんに宣



我孫子の街・物・自然
白山の斉藤宅門扉 / 作・松岡信夫(若松)